外国語科（英語）学習指導案

日　時　令和７年 12 月 15 日(月)
５校時　13:25～14:15
学校名
対　象　第３学年　組　名
会　場　英　語　教　室
授業者

１　単元名

Lesson 8　For Our Future　*NEW CROWN English Series3*

２　単元の目標

外国語を学ぶ意義について自分の考えを伝えるために、聞き手に分かりやすく話して伝えることができる。

３　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　間接疑問文の使い方を理解している。 ②　外国語を学ぶ意義について自分の考えを伝えるために、聞き手に分かりやすく話して伝える技能を身に付けている。	①　外国語を学ぶ意義について自分の考えを伝えるために、聞き手に分かりやすく話して伝えることができる。	①　外国語を学ぶ意義について自分の考えを伝えるために、聞き手に分かりやすく話して伝えようとしている。

４　指導観

⑴　単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年７月告示）の第２章、第９節　外国語、第２　各言語の目標及び内容等、英語、１　目標　⑷　話すこと[発表]

> イ　日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

また、同２　内容〔知識及び技能〕　⑴　英語の特徴やきまりに関する事項

> エ　文、文構造及び文法事項、
> （ｲ）　文構造
> ｃ　[主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語]のうち、
> (c)　主語＋動詞＋間接目的語＋{ that で始まる節 / what などで始まる節 }

加えて、同内容〔思考力、判断力、表現力等〕、⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

> ウ　日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。

さらに、同内容、⑶　言語活動及び言語の働きに関する事項

> ①　言語活動に関する事項
> オ　話すこと[発表]
> (ｲ)　日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。

② 言語の働きに関する事項 イ 言語の働きの例 （ェ） 考えや意図を伝える ・意見を言う

を受けて、単元の最終段階では、外国語を学ぶ意義について自分の考えを伝えるために、聞き手に分かりやすく話して伝えることを目標とする。

⑵ 生徒観

本校は１学級２展開で習熟度別少人数授業を行っており、本学級はアドバンスである。当該学年は真面目で意欲的な生徒が多く、生徒同士の仲も良く、コミュニケーション活動を活発に行うことができる。台東区の海外派遣事業でオーストラリアに派遣された生徒もおり、英語学習への意欲が高く、積極的に英語学習に取り組む生徒が多い。これまで、ＡＬＴとの会話や、ＡＬＴに自分の意見をプレゼンテーションするなどし、話す活動に取り組んできた。ただ、その際に、原稿を書いて、そのとおり英語を暗唱し、読む生徒も多い。本単元では、発表のメモを準備し、それに沿って自分の言葉で英語を組み立てられるように練習を積み重ねていく。また、英語に限らず総合の時間などでスライドを用いたプレゼンテーションにも意欲的に取り組んできたことから、中学校の教科書の最後の Lesson として、これまで外国語に触れて感じたことや卒業後の将来について関係させながら、「外国語を学ぶ意義」を伝えられるよう指導する。

⑶ 教材観

本単元は、「外国語を学ぶ意義」が話題である。教科書の登場人物が、中学校を卒業した後のことや、英語の授業を通して考えた外国語の意義、インドからの転校生が日本語を学んだ際に感じた日本語を学ぶ意義が述べられ、Goal Activity では、世界で働く医者、日本の大学生、和菓子職人が外国語を関わりながら生活をしている体験談が載っている。それらを読みながら、英語に限らず、様々な言語を学び使っている人々について読み取りながら、生徒自身にとっての「外国語を学ぶ意義」について深めていく。

また、発表の例は以下のとおりである。

〈Introduction〉 I think we learn foreign languages to enjoy our lives. 〈Body〉 I love K-pop and got to watch some lives show of my favorite Korean artists. Sometimes they talk to us in Korean on the stage. If I understand what they speak, I'm happier. 〈Conclusion〉 I'm going to study Korean.

５ 年間指導計画における位置付け

月	単元名	学習内容
4	Lesson 1　Join Us	話すこと[発表]
5	Lesson 2　The Power of Music	話すこと[やりとり]
6	Reading Lesson 1　I What Makes Music?	読むこと
7	Lesson 3　Cranes for Peace	書くこと
9	Lesson 4　Bollywood Movies	聞くこと
10	Lesson 5　Translating culture	書くこと
11	Lesson 6　Being fair	読むこと
	Reading Lesson 2　I Have a Dream	読むこと
12	Lesson 7　Design for Change	話すこと[やりとり]

1	Lesson 8　For Our Future	話すこと[発表]
2	Reading Lesson 3　Learning from Nature	読むこと
通年	ペーパーテスト	
	パフォーマンス	

6　単元の指導計画と評価計画（７時間扱い）

時	目標	○学習内容　・学習活動	評価規準 (評価方法)
第1時	単元目標の確認	○　単元目標・単元の話題の確認 ・　本単元の目標を理解し、学習過程の見通しをもつ。 ・　題材について簡単なオーラルイントロダクションを行い、興味関心を高める。 ○　外国語（英語）を使って、やってみたいことについて、即興で伝え合う。	ウ－① （観察）
第2時	Part 2, Scene 2 を読み、要点を捉え、職業の意義や意味を知る。	○　ウォームアップとして、生活で外国語を使った場面や外国語に触れた経験について、即興で伝え合う。 ○　Part 2, Scene 2 の要点把握 ・　陸の意見、ディヌーの意見の要点把握。 ・　音読練習。 ・　陸とディヌーが一番伝えたいことを確認する。	ウ－① （ワークシート）
第3時	Lesson 3 Goal Activity ３人の外国語を学び意義や意味を読み取る。	○　オーラルイントロダクションを通し、外国語と関わりながら生活をしている人々について関心を高める。 ○　Lesson 3 Goal Activity の要点を捉える。 ・　新出単語の確認。 ・　本文を黙読する。 ・　それぞれの人物にとっての「外国語の意味」と「生活にどのような影響を与えているか」に注目し、各段落の概要と要点を把握する。 ・　それぞれの人物のエッセイのリテリングに取り組む。	ウ－① （ワークシート）
第4時（本時）	外国語を学ぶ意義について自分の考えをまとめる。	○　ウォームアップとして、将来どのような場面で外国語を使うと思うか、即興で伝え合う。 ○　三段論法について確認する。 ○　「外国語を学ぶ意義」をブレーンストーミングし、全体で共有する。 ・　ブレーンストーミングで共有した意見から、自分の考えをまとめる。 ・　意見に加えて、理由となる自分の経験や将来について書き足し、メモを作成する。 ・　メモを基に、ペアで自分の意見を伝え合う。 ・　中間評価で参考となる表現を共有する。	ウ－① （ワークシート） ア－② （ワークシート）

第5時	間接疑問文を理解する。	○　間接疑問文の表現の確認 ○　Part 1, Scene 2、Part 2, Scene 2、Lesson 3 Goal Activity の本文中の間接疑問文を使った表現の意味や機能について理解する。 ○　ドリル練習と表現活動	アー① （観察） （ワーク） （ペーパーテスト）
第6時	外国語を学ぶ意義について、発表の準備をする。	○　発表の準備と練習。 ・　メモを基に、発表の補助となるスライドを準備する。 ・　発表の練習を行う。 ・　中間評価で参考となる表現を共有する。 ・　必要に応じて修正を加える。	アー② （発表） ウー① （発表）
第7時	外国語を学ぶ意義について自分の考えを伝えるために、自分の経験や将来に触れながら、聞き手に分かりやすく発表する技能を身に付ける。	○「外国語を学ぶ意義」について自分の考えを発表する。 ・　聞き手は、聞き取った内容や発表の良かったところをメモしながら聴く。 ・　発表の最後に質疑応答の時間をとる。	イー① （発表） ウー① （発表）

7　指導に当たって

ア　生徒がそれぞれの意見発表に取り組むことで、「主体的な学び」を促す。
イ　意見交換や互いに良いところを学び合う時間を設けることで、「対話的な学び」につなげる。
ウ　参考になる実践例を提示し、新たな表現や考えに触れることで、自分の表現を見直し、「深い学び」を促す。

8　本時（全７時間中の４時）

⑴　本時の目標

外国語を学ぶ意義について自分の考えをまとめる。

⑵　本時の展開

時間	○学習内容　・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 （評価方法）
導入 （10 分）	○　挨拶 ○　small talk ・　ペアで“Where will you use foreign language in the future?”と尋ね合い、将来、どんな場面で外国語を使うと思うか、即興で伝え合う。 ○　目標・授業展開の確認 ・　本時の目標と授業展開を確認する。 外国語を学ぶ意義について、自分の考えをまとめる。	・　自分が使える表現を使うよう確認する。	
展開 （35 分）	○　「外国語を学ぶ意義」をブレーンストーミングする。	・　日本語で考えて良いことを伝える。	ウー① 外国語を学ぶ意義について自分の考えを伝えるために、聞き手に

	○　三つの段落の構成要素について確認する。 ○　自分の意見をまとめる。 ・　三つの段落の構成要素に沿って、メモを作成する。 ○　ペアになり、メモを基に自分の意見を英語で伝え合う。 ○　中間評価 ・　参考になる表現や良いところを全体で共有する。 ○　必要に応じて、自分の発表メモに修正を加える。	・　机間指導をしながら、必要に応じて個別に助言を行う。 ・　机間指導をしながら参考となる表現を選出する。 ・　英語の表現の参考になる生徒と、内容が参考になる生徒を選ぶ。 ・　生徒に良いところを発表してもらう。	分かりやすく話して伝えようとしている。 （ワークシート） ア－② 外国語を学ぶ意義について自分の考えを伝えるために、聞き手に分かりやすく話して伝える技能を身に付けている。 （ワークシート）
まとめ （5 分）	○　ワークシートの回収 ○　挨拶	・　次回の活動内容について伝える。	

⑶　板書計画

電子黒板 ・　教員のタブレットを投影	本時の目標 全体にシェアすべきこと ※必要に応じて板書する。

⑷　授業観察の視点

ア　生徒がそれぞれ発表に取り組むことで、「主体的な学び」を促していたか。

イ　意見交換や互いに良いところを学び合う時間を設けることで、「対話的学び」につなげていたか。